

【旅行観光分野】

分野選定の背景

- **東京都は観光振興に注力**しており、訪日外国人客が増加する中で、**旅行観光関連は一定の求人ニーズ**がある。同産業からは人手不足の声があがっており、都内ハローワークに申し込まれた旅行観光関連求人数は年間13万人（R5年度）を超える。
- **旅行観光分野における職業訓練**として、「ホテルレストランサービス科」「旅行観光サービス科」「トラベルビジネス科」「観光ビジネス科」などを実施しているが、令和5年度の同分野の訓練定員は294人、修了者は248人、訓練修了3か月後就職率は31.0%と**他分野と比較し低調**であった。

現状 課題

- ・旅行観光分野訓練は3か月または6か月間訓練が実施されているが、毎月開講でなく、開催時期が限定されている。
- ・求人ニーズと就職率の乖離として、訓練修了時の修得知識技能と業界が求めている能力が離反しているのか、或いはそれ以外の理由で就職に結び就いていないのか、コース設定、カリキュラム、コース周知案内、受講あっせん、就職支援、様々な側面から受講者増、就職率の向上、改善が図れると推測される。

提案

上記背景、現状、課題を踏まえ、求人・求職ニーズを確認しつつ、職業訓練による旅行観光分野の人材育成、人材供給に対応するため、令和7年度は【旅行観光分野】の職業訓練を効果検証の対象とすることを提案します。



訓練修了時の仕上がり像は、
“江戸おもてなし”人材

効果検証にあたって

訓練実施機関、訓練修了生、就職先企業にヒアリングを実施し、既存のカリキュラムに加え、現在の観光業界で求められている資格、知識、技能等を聞き取りを行い、幅広い職種（旅行会社、観光協会、インバウンドガイド、ホテル・旅館、飲食店、商業施設）等へ就職する為に必要な取組みの検証、改善策の探索を行い、受講者数の増加・就職率の向上を目指す。